

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地		
専門学校 国際情報工科大学校	平成13年12月11日	水野和哉	〒963-8811 福島県郡山市方八町2丁目4番15号 TEL 024-956-0030		
設置者名	設置認可年月日	代表者名	所在地		
学校法人 新潟総合学院	平成7年3月24日	池田祥護	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 TEL 025-210-8565		
目的	本校は、工業関係・文化教養関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を養成することを目的とする。				
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与 高度専門士の付与
工業	工業専門課程	建築CAD設計科	2年 昼	2,040時間	平成6年文部省告示第84号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	646単位時間	340単位時間	0単位時間	1,054単位時間	0単位時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人	35人	2人	12人	14人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期：4月1日から9月30日まで</li> <li>■ 後期：10月1日から3月31日まで</li> </ul>		成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表 (有)・無)</li> <li>■ 成績評価の基準・方法について 評価点数に応じた4段階評価制</li> </ul>	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学年初め：4月1日から4月10日まで</li> <li>■ 夏季：7月25日から8月31日まで</li> <li>■ 冬季：12月25日から1月7日まで</li> <li>■ 学年末：3月10日から3月31日まで</li> </ul>		卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 総出席率90%以上 (補講による充当分は含まず)</li> <li>■ 科目評価すべての科目C以上</li> <li>■ 基準検定の取得・課題の提出</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クラス担任制 (有)・無)</li> <li>■ 長期欠席者への指導者の対応 家庭訪問、三者面談を随時実施、対応</li> </ul>		課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課外活動の種類 学生ボランティア等</li> <li>■ サークル活動 (有)・無)</li> </ul>	
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な就職先、建築設計業</li> <li>■ 就職率 100%</li> <li>■ 卒業者に占める就職者の割合 68.4%</li> <li>■ その他 建築士専攻科への進学者有り (平成26年度卒業者に関する平成27年3月13日現在の情報)</li> </ul>		主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>2級建築士(卒業後受験可)</li> <li>2級建築施工管理(学科試験)</li> <li>建築CAD検定2級</li> </ul>	
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中途退学者 1名 ■ 中退率 2.8%</li> <li>平成26年4月1日在学者36名(平成26年4月入学生を含む)</li> <li>平成27年3月4日在学者35名(平成27年3月卒業生を含む)</li> <li>■ 中途退学の主な理由 進路変更</li> <li>■ 中退防止のための取組 クラス担任制を活かし状況の把握をし必要に応じてスクールカウンセリング制度を併用し防止に努めている</li> </ul>				
ホームページ	URL : <a href="http://www.wiz.ac.jp/">http://www.wiz.ac.jp/</a>				

## 1 教育課程の編成

## (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

建築業界にて活躍が期待される二級建築士受験要件を満たしている学科であり、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、要件を満たした教職員からの授業のほか、地元工務店、建築施工業者と連携を図り建築現場に必要な体験型授業を取り入れ教育課程の改善を行う方針とする。

## (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年6月4日

名 前	所 属
水 野 和 哉	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 学校長
村 上 史 成	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 副校長
和 田 秀 勝	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 教務部長
高 田 寿 広	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 事務局長
近 内 広 樹	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 学科長
嶋 影 健 一	公益社団法人日本建築家協会東北支部
酒 井 直 樹	株式会社 オオバ工務店
増 子 順 一	有限会社 デザインプラス
高 橋 悟	T+空間デザイン

## (開催日時)

第1回 平成25年11月15日 13:30 ~ 15:00

第2回 平成26年1月20日 17:00 ~ 19:00

## 2 主な実習・演習等

## (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

卒業後の即戦力を目指すため、現場見学を中心とした実習を強化し、受入れ企業に対しては、マンツーマンの指導者対応を要請するとともに、複数部署での実務研修を実施する方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
建 築 C A D 設 計 総 合 演 習	建築現場見学を通じ最新の状況を学ぶ	株式会社オオバ工務店

## 3 教員の研修等

## (教員の研修等の基本方針)

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。

## 4 学校関係者評価

## (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年6月4日

名 前	所 属
青 柳 嘉 一 郎	元学校長
猪 狩 浩 嗣	同窓会会長
大 森 み どり	保護者代表
志 賀 光 晴	一般社団法人 福島県自動車整備振興会
嶋 影 健 一	公益社団法人日本建築家協会東北支部
中 林 寿 文	特定非営利活動法人国際ゲーム開発者協会日本
若 松 信 一 郎	光栄電気通信工業株式会社
佐 藤 理 夫	福島大学
杉 山 安 洋	日本大学 工学部

## (学校関係者評価結果の公表方法)

URL : <http://www.wiz.ac.jp/>

## 5 情報提供

## (情報提供の方法)

URL : <http://www.wiz.ac.jp/>

## 授 業 科 目 等 の 概 要

工業専門課程			建築CAD設計科				平成25年度			
分 類			授 業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授 業 方 法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			建 築 計 画 I	建築において使用される単位、寸法など建築計画の基礎的学習	1前	34	-	○		
○			建 築 法 規 I	建築関係法令集を用い、建築基準法・関連法規を理解する	1前	34	-	○		
○			構 造 力 学 I	構造力学の基礎について学習	1前	34	-	○		
○			構 造 力 学 II	力とモーメント・力の合成と分解・部材に生じる力について学習	1後	34	-	○		
○			一 般 構 造	建築構造（木造・鉄骨造・RC造）の仕組みを学習する	1前	34	-	○		
○			環 境 工 学	日照・日射・光・色彩などの原理を学び、快適な環境を作るための学習	1前	34	-	○		
○			建 築 環 境 論	日照・日射・光・色彩などの原理を学び、快適な環境を作るための学習	1後	34	-	○		
○			建 築 概 論	建設業界のしくみ、専門用語などの説明	1前	34	-	○		
○			建 築 材 料	各種建築材料の性能や構造的な特徴について学習する	1後	34	-	○		
○			建 築 史	建築の歴史を知り、建築と社会、都市と建築、気候や材料の関係を学習	1後	34	-	○		
○			設 計 演 習 I	建築計画Iの基礎的学習を踏まえて、演習を行う。	1後	34	-		○	
○			設 計 実 習 I	設計をする上で必要な、基本寸法、各部寸法空間の設計を習得する。	1通	102	-			○
○			建 築 構 造 学	建築の基本的な構造（木造・鉄骨造・RC造）の仕組みを学習する	1後	34	-	○		
○			造 作 実 習	大工道具を使い、木造の継手と仕口の加工を行い、材料の特徴を学ぶ	1前	68	-			○
○			建 築 製 図 I	建築をする上で必要な設計図を描く為の基礎演習 木造住宅の図面作図	1通	102	-			○
合 計					15科目	680単位時間				

## 授 業 科 目 等 の 概 要

工業専門課程			建築CAD設計科		平成25年度					
分 類			授 業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授 業 方 法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			C A D マ ス タ ー	JW_CADの基本操作を習得し建築 図面をCADを用いて作成する 実習	1通	102	-			○
○			建 築 造 形 学	プレゼンテーションを目的と し、模型製作やパース図の作成 を習得する	1通	102	-			○
○			修 了 制 作	それぞれの学科で学んだ事を1 年間の総まとめとして課題制作 を行う	1後	102	-			○
○			就 職 実 務	就職活動の準備として、業界理 解・職種理解・自己分析を行 う。	1後	34	-	○		
○			建 築 法 規 Ⅱ	建築関係法令集を用い、建築基 準法・関連法規を理解する	2通	68	-	○		
○			構 造 力 学 演 習	構造力学の基礎（静定・不静 定）について学ぶ	2前	34	-		○	
○			建 築 計 画 Ⅱ	計画Ⅰで学習したことをもと に、各種建築物の計画と応用を 学習する。	2前	34	-	○		
○			建 築 設 備	給排水・空調など建築にかかわ る設備について学習する。	2後	34	-	○		
○			建 築 施 工	建築施工の流れにそって仮設・ 躯体・仕上げについて学習す る。	2前	34	-	○		
○			施 工 管 理	施工計画・安全管理・工程管 理・品質管理の施工管理知識を 学習する。	2後	34	-	○		
○			計 画 演 習 Ⅱ	計画Ⅰで学習したことをもと に、各種建築物の計画と応用を 学習する。	2前	34	-		○	
○			設 計 実 習 Ⅱ	公共建築物の企画・設計を行 い。コンペ出展を目標に作品制 作を行う。	2後	102	-			○
○			構 造 設 計	構造力学の基礎（静定・不静 定）について学習	2前	34	-	○		
○			構 造 演 習	各部ディテールを製図し、構造 の特徴や仕上げとの関係を学習 する。	2後	34	-		○	
○			建 築 材 料 実 験	コンクリートと鉄筋について、 材料実験を行い、レポートを作 成	2前	34	-			○
合 計				15科目	816単位時間					

## 授 業 科 目 等 の 概 要

工業専門課程			建築CAD設計科		平成25年度					
分 類			授 業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授 業 方 法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			プログラム実習	パソコンの基本操作を学習、簡単な積算と見積書の作成を行う。	2前	34	-			○
○			測量実習	建築測量の平板測量・水準測量・トランシット測量を実習し基本を学ぶ	2後	34	-			○
○			建築製図Ⅱ	R C造・S造の図面作成（平面・立面・断面・詳細図）	2通	136	-			○
○			C A D 応 用	2次元CADの操作に加え、3次元のCAD操作を習得する	2通	136	-			○
○			建 築 C A D 設 計 総 合 演 習	設計：建築コンペ出展に向けた作品制作を行う 施工：建築現場見学	2通	204	-	○		
合 計					15科目	544単位時間				